

あ

す

病院だより

JA茨城県厚生連  
土浦協同病院 なめがた地域医療センター広報誌



第 51 号

発行 平成30年4月00日

# 明日のなめがた

Tschiura Kyodo Hospital Namegata District Medical Center



## 新任医師紹介

内科科長 萩原晋也

2018年4月よりなめがた地域医療センターに内科医として赴任しました。前年度までは筑波大学附属病院に勤務しており、専門は膠原病リウマチです。関節リウマチは四肢の痛み、特に手や手指の関節痛を特徴とする疾患です。本邦の患者数は60万人以上と推定されており、決して珍しい病気ではございません。気になる症状をお持ちの方は、是非お気軽にご相談ください。

内科科長 木全 啓

はじめまして。4月より内科医として赴任しました、木全啓（きまたあきら）です。専門は循環器内科で、これまでは循環器診療、急性期診療を中心に行っておりました。なめがた地域医療センターは急性期治療に加えて、地域医療に大きく貢献している病院だと伺っております。私も皆様のお役に立てるよう、循環器診療のみならず内科一般診療に貢献できればと考えております。至らぬ点もあるかと存じますが、何卒よろしくお願いたします。

内科 寺崎俊彦

2018年4月から赴任することになりました。内科の寺崎俊彦と申します。膠原病・リウマチ内科を専門としておりますが、なめがた地域

医療センターでは膠原病・リウマチ疾患に限らず、内科全般の疾患を診させていただけます。鹿行地域に赴任するのは初めてなので、地域のことも色々と学んでいけたらと思います。どうぞよろしくお願いたします。

整形外科 島崎紘史郎

この度、なめがた地域医療センター整形外科に赴任致しました島崎紘史郎と申します。私には学生時代から約10年間過ごしてきた茨城県へ恩返しをしたい、という強い思いがあります。医療過疎地域と言われる鹿行地区の医療に微力ながら貢献できればと考えております。地域に根ざした医療を提供し、皆様のニーズに応えられるよう精一杯努めさせて頂きますので、何卒、宜しくお願ひ申し上げます。

整形外科 奥脇 駿

2018年4月からなめがた地域医療センターに赴任しました奥脇駿です。前年度は水戸協同病院で整形外科医として勤務しておりました。行方市は前任の病院と比較しても周辺に医療機関が少なく、外傷やスポーツ医学、変性疾患など地域のニーズに応えられるように診療に当たっていききたいと思っております。お困りの際などはお気軽ににご相談ください。宜しくお願ひ致します。

# 今年度の新採用者の紹介を致します。 どうぞよろしくお願いいたします。

平成30年度の入会式を4月1日3階会議室において行いました。今年度の新採用者は17名となりました。辞令交付式は全職員が真新しい制服に身を包み緊張した様子で院長から辞令を受け取りました。その後院長訓示、病院幹部職員の紹介がありました。

## 採用者

- ①氏名
  - ②所属
  - ③出身地
  - ④趣味
  - ⑤モットー又は好きな言葉
- 
- ①阿部明日香
  - ②4階北病棟(看護師)
  - ③石岡市
  - ④音楽を聴くこと
  - ⑤ありがとう
- 
- ①田山 実夢
  - ②4階北病棟(看護師)
  - ③茨城県銚田市
  - ④ライブ、サッカー観戦
  - ⑤継続は力なり
- 
- ①田山 智景
  - ②4階南病棟(看護師)
  - ③大洗町
  - ④カフェ巡り
  - ⑤失敗は成功の元
- 
- ①戸島 涼楓
  - ②地域包括ケア病棟(看護師)
  - ③銚田市
  - ④映画鑑賞
  - ⑤一期一会です。出会いを大切にし初心を忘れずに頑張ります！
- 
- ①額 レイナ
  - ②社会福祉部(社会福祉士)
  - ③常総市
  - ④ドライブ、楽器演奏♪
  - ⑤よく食べて、よく寝る！
- 
- ①中島みどり
  - ②栄養部(栄養技師部長)
  - ③石岡市八郷町
  - ④山登り、自転車
  - ⑤継続は力なり
- 
- ①酒井 礼子
  - ②栄養部(調理師)
  - ③土浦市
  - ④ガーデニング
  - ⑤この職業に就いてから病院給食は治療の一環と考えてます。
- 
- ①安野真由美
  - ②4階北病棟(看護師)
  - ③茨城県鹿嶋市
  - ④ショッピング、ライブ鑑賞
  - ⑤なんとかなる
- 
- ①中村 悠真
  - ②リハビリテーション部(理学療法士)
  - ③かすみがうら市
  - ④スノーボード、旅行
  - ⑤仕事をするときには自分の行動に責任を持って、メリハリをつけて頑張ります。
- 
- ①高野 翔平
  - ②臨床検査部(臨床検査部技師)
  - ③石岡市
  - ④温泉に入ること
  - ⑤気合と根性
- 
- ①石崎志保里
  - ②4階北病棟(看護師)
  - ③銚田市
  - ④ライブ、カラオケ
  - ⑤日進月歩
- 
- ①内山 百絵
  - ②4階南病棟(看護師)
  - ③高萩市
  - ④映画・食べること
  - ⑤努力は必ず報われる
- 
- ①福釜沙知栄
  - ②眼科外来(視能訓練士)
  - ③茨城県銚田市
  - ④楽器演奏(エレキベース)
  - ⑤日々成長できるように頑張ります。
- 
- ①飯島 弥生
  - ②4階北病棟(看護師)
  - ③茨城県
  - ④テニス、音楽を聞く
  - ⑤日進月歩
- 
- ①明間 真美
  - ②栄養部(管理栄養士)
  - ③潮来市
  - ④音楽鑑賞、食べ歩き
  - ⑤ありがとう
- 
- ①飯島 弥生
  - ②4階北病棟(看護師)
  - ③茨城県
  - ④テニス、音楽を聞く
  - ⑤日進月歩
- 
- ①春秋 沙映
  - ②4階南病棟(保健師)
  - ③鹿嶋市
  - ④寝ること
  - ⑤一生懸命頑張る。
- 
- ①石崎志保里
  - ②4階北病棟(看護師)
  - ③銚田市
  - ④ライブ、カラオケ
  - ⑤日進月歩
- 
- ①中島みどり
  - ②栄養部(栄養技師部長)
  - ③石岡市八郷町
  - ④山登り、自転車
  - ⑤継続は力なり
- 
- ①酒井 礼子
  - ②栄養部(調理師)
  - ③土浦市
  - ④ガーデニング
  - ⑤この職業に就いてから病院給食は治療の一環と考えてます。
- 
- ①安野真由美
  - ②4階北病棟(看護師)
  - ③茨城県鹿嶋市
  - ④ショッピング、ライブ鑑賞
  - ⑤なんとかなる

## 学会報告 第77回茨城県厚生連病院学会 報告

### 看護部 岩淵亜里

3月につくば国際会議場で行なわれた、第77回茨城県厚生連病院学会にて『BLSヘルスケアプロバイダーコース受講時の不安の軽減～事前練習を通して～』についての発表を行なってきました。BLSは急変対応時に必要不可欠な一次救命処置です。BLSの普及はもちろんのこと、BLSを習得するためのお手伝いができるよう、これからも活動していきたいと思っています。

### 健診センター保健師 中川宏美

つくば国際会議場で開催された第77回茨城県厚生連病院学会において「職員の健康管理の現状と課題～健康診断に対する意識調査を通して～」について口頭発表を行いました。

当院の健診センターは地域住民の皆様の健診業務だけでなく、病院職員の健康管理も担っています。病院職員の健康は、地域の皆様の健康を守る上でも大切なことであり、今後も保健活動の充実を図っていききたいと思います。

### 4階北病棟 看護師 田山貴美子

2018年3月3日、つくば国際会議場にて、第77回茨城県厚生連病院学会が開催されました。当院の代表として「声かけに対する患者と看護師の意識の相違～データベース聴取時の看護師の対応から～」の演題で発表しました。

今回学会に参加し多くの学びを得た事を今後の看護に活かして行きたいと思っています。ご協力頂いた皆様に感謝いたします。

### 放射線部 鈴木恭子

第77回茨城県厚生連病院学会にて『停電時対応マニュアルの作成』という演題で口頭発表を行ってきました。私が参加した放射線部門のセッションでは各施設での被ばく低減への取り組みや、CT・MRIなど、様々なモダリティーで各施設が実際に行っている撮影方法の工夫などが紹介されました。これからの日々の業務に役立つ口演が多数取り扱われており、大変参考になりました。

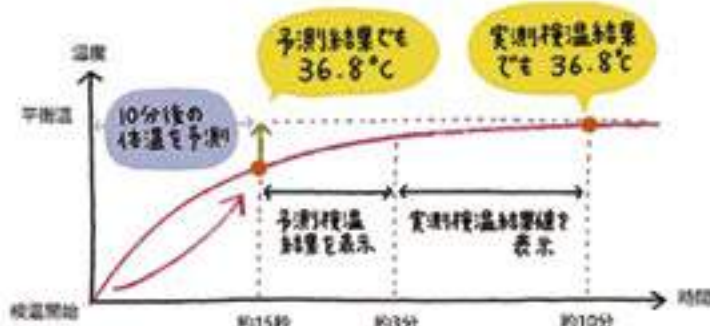


臨床工学技士は、院内の医療機器のスペシャリスト。医療機器の保守管理・操作を行っています。紙面にて医療機器の少し役に立つお話をします。

## 体温計について

現在主流の電子体温計は、**予測式体温計**です。  
本来なら約10分の測定時間が必要ですが、約15秒～30秒で測定出来ます。  
しかし、正しく使用しないと正確な値が出ません。

**予測式のしくみ** ピピッと音が鳴るまで待ちましょう



## 測定時のポイント

わきの温度は中心ほど高く、周辺は低くなっています。



角度は30度で挿入し脇をしっかりと閉じます



臨床工学部

## Question 臨床検査 Q&A

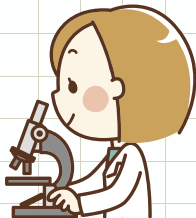
～臨床検査技師に聞いてみよう～  
「細胞診検査について」

第5回

今回は細胞診検査について滝技師にお聞きします。

### Q. 細胞診検査とはどのような検査ですか？

A. 細胞を顕微鏡で観察する検査です。「がん細胞」や「怪しい細胞」があるかを調べます。たとえば、子宮がん検診の検査として子宮頸部細胞診というものがあります。他には、喀痰細胞診や、尿細胞診などがあります。「血の混じった痰がでる」や、「血尿が続いている」などは肺がんや膀胱がんなどが潜んでいるサインかもしれません。そのような症状の方に細胞診検査が行われます。細胞診検査はがんの早期発見・診断の役割を担っています。



### Q. 細胞の採取から診断までの流れを教えてください。

A. 子宮頸部細胞診では婦人科医が子宮頸部の細胞を採取具でこすり取ります。それを顕微鏡で見るためガラスに塗りつ

けます。痰や尿も同様にガラスに薄く塗りつけて顕微鏡用の標本にします。これらの標本を細胞診用の染色液で染色します。そして顕微鏡で標本を隅から隅まで観察します（これをスクリーニングといいます）。スクリーニングは認定資格をもつ細胞検査士が行います。最終的な診断は細胞診専門医が行います。

### Q. 細胞検査士について教えてください。

A. 聞きなれない職業と思われた方も多いと思います。細胞検査士は日本臨床細胞学会認定の資格です。日本には約6,000人の細胞検査士がいます。当院の臨床検査技師のうち3名が細胞検査士の資格を持っています。資格取得後も学会や研修会に参加し、常に新しい知識を得て細胞を判定する能力の維持・向上に努めています。

臨床検査部

